

## 南方占領地（ビルマ）の孔雀加刷封皮

川原 啓一郎

ビルマでは正刷の葉書や封皮は発行されず、全てが加刷によりまかなわれた。展示の封皮はビルマ国名入りのジョージ6世図案のものが台となっている。

①は日本軍援助のもとにビルマ独立義勇軍を中心に結成された治安維持委員会により発行された。その期間は1942年5月から日本人職員が郵便業務を引き継ぐ8月までの短い期間であった。加刷された孔雀には3種類のタイプが知られている。

②は日本軍政から郵便業務を移されたビルマ行政府により、①に1943年7月1日、×と国家紋章印が再加刷され発売された。×はジョージ6世肖像と旧料金を抹消するためであった。裏面の5セント風物図案切手貼付、住所及び消印から、ラングーンより封書の料金が5セントから10セントに値上げされた1944年の7月2日に差立てられたことが判る。

① 治安維持委員会発行

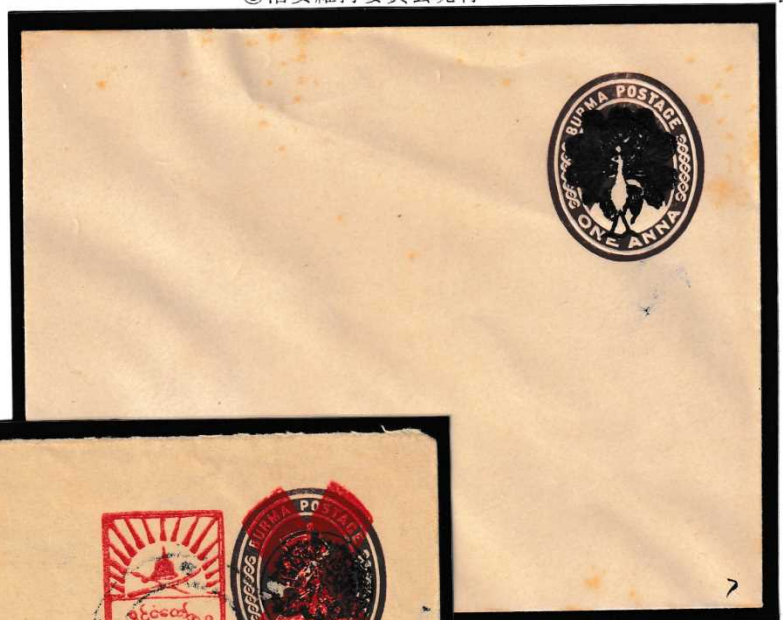
①の孔雀



②の孔雀



② ビルマ行政府発行



②の裏面(47%)コピー

